

タイ6期松生敏子（まついけとしこ）
国際交流基金“日本語パートナーズ”

第9回派遣報告 「外国語トレーニングキャンプ」 2018年10月

タイの学校は2学期制です。生徒は10月、期末試験の後1か月間の休みに入ります。休みの間に、英語・中国語・韓国語・日本語の外国語学科では、ペトナリーキャンプが行われました。前学期に、優秀者ペトナリー（ペトはダイヤモンド、ナリーは女性を意味します）90名を選びました。日本語選択者は18名です。引率教員30名と1泊でトレーニングキャンプに行きました。



学校から北東にバスで3時間、ナコンラーチャシーマ県ワンナムキアウという森林にある宿泊施設で行いました。



キャンプの始業式の後、英語班と中国語班が担当し、全体でゲームをしました。
歌を歌ったり、伝言ゲームをしたり楽しみました。

午後は、日本語班では 2 つのゲームをしました。広場で、半分の人数に分かれて同時に行います。終わったら交替します。

1 つは、日本語の言葉のカードを選んで、そのカードの言葉を使って、文章を作るゲームです。もう一つは写真のように、一人が目隠しをし、他のメンバーが「前・後・右・左・真直ぐ」と箱まで誘導します。箱の中のものを「堅い・丸い・短い」の形容詞で言い、他のメンバーが箱の中身を当てるゲームです。



夜は各国の料理紹介です。日本語班はカレーを作りました。料理の作り方を日本語で説明します。実際に作ってみます。夕食後なので味見程度に作り、全員で試食しました。



翌日は、韓国語班と日本語班が担当し、全体でゲームをしました。日本語班は「前後左右」体を使って覚えました。「まえ・うしろ・みぎ・ひだり」と言いながら、両足を揃えて 1 歩移動します。司会のジャンケンポンの合図で、ジャンケンをし、負けた人が後ろに繋がって 2 人組ができます。だんだん早く号令をかけていきます。4 人組・8 人組・・・全員が繋がるまで続けます。

天気にも恵まれ、気持ちのよい風の中、いろいろな言葉に触れ、生徒は 2 日間を楽しんでいました。